

## アドビシステムズ社、 ISO による PDF の標準化の促進を目的として 最新 PDF の全仕様を AIIM に譲渡

### AIIM が電子文書フォーマットとしての ISO 規格承認手続きを推進

#### 【2007 年 1 月 30 日】

米国カリフォルニア州サンノゼ発（2007 年 1 月 29 日）Adobe Systems Incorporated（NASDAQ：ADBE、本社：米国カリフォルニア州サンノゼ、以下アドビシステムズ社）は本日、PDF（Portable Document Format）の国際標準化機構（ISO）による規格承認のため、PDF 1.7 の全仕様を AIIM（Enterprise Content Management Association）に譲渡すると発表しました。

PDF はアドビシステムズ社が 1993 年に規格を発表して以来、安全で信頼性の高い情報交換のフォーマットとして事実上の世界標準となっています。PDF は行政機関や民間企業において、膨大な量の電子データを高い安全性と信頼性をもって共有、管理、さらには何世代にもわたって保存するためのフォーマットとして使用されています。アドビシステムズ社は 1995 年以降、ISO による PDF 承認のために技術仕様の開発を目的としてさまざまなワーキンググループに参加し、業界や機能ごとに PDF のサブセットを提供するために ISO の枠組みの中で作業を行ってきました。今日、電子文書の長期保存を規定する PDF/A（PDF for Archive）と PDF による商用印刷入稿を規定した PDF/X（PDF for Exchange）がすでに ISO 規格として承認され、現在、技術文書の情報交換を規定する PDF/E（PDF /for Engineering）と、ユニバーサルアクセスを規定する PDF/UA（PDF for Universal Access）が規格として提案されています。また、ヘルスケア分野における PDF の規格である PDF/H（PDF for Healthcare）は、AIIM より Best Practice Guide として提案されています。AIIM は、PDF/A、PDF/E、PDF/UA、PDF/H の管理団体です。

アドビシステムズ社シニアバイスプレジデント兼チーフソフトウェアアーキテクトであるケビン リンチ（Kevin Lynch）は、「本日の発表は、PDF が事実上の標準から、法律で認められた正式な規格へと進化するためのステップとなるものです。ISO による標準化に向けて PDF の全仕様を譲渡することにより、アドビシステムズ社の技術の開示に向けた取り組みが一層強化されます。行政機関やその他の組織では、オープンなフォーマットを求める傾向が高まる中で、門戸が開かれた外部機関によって PDF 規格が管理されることは、技術革新を推進し、この 15 年間で進化を続けてきた PDF のエコシステムの拡大に貢献するでしょう」と述べています。

アドビシステムズ社は ISO への提出のため、PDF リファレンスマニュアル（[http://www.adobe.com/devnet/pdf/pdf\\_reference.html](http://www.adobe.com/devnet/pdf/pdf_reference.html)）で定義されている PDF 1.7 の全仕様を AIIM に譲渡します。また、共同の委員会を AIIM の組織内に設立して対応が必要な課題やその対策案の抽出を行なった上で草案を作成し、国際標準として承認する ISO の共同作業部会に提出します。AIIM は ISO の文書管理技術委員会（TC）171 と 171 SC2 の事務局を務めているほか、国際会議において米国の代表となる米国 ISO TC 171 技術顧問団の事務局も務めています。

AIIM の総責任者であるジョン マンシーニ (John Mancini) 氏は、「AIIM は、ISO における PDF の専門的なサブセットの管理団体として、今回のアドビ システムズ社からの提案を嬉しく思います。この数年間、AIIM では特定の市場やお客様の PDF に関する多くの要望を聞き、その支援を行ってきました。市場やお客様から寄せられる要望は極めて多岐にわたります。これらの要望を統一するためにアドビ システムズ社が PDF の全仕様を正式な ISO 規格として提出したことは当然の流れと言えるでしょう」と述べています。

### **AIIM について**

AIIM は、Enterprise Content Management (ECM) の世界的権威であり、ECM 技術の理解、導入、使用に関して主導的な役割を果たしています。これらの技術、ツールや手法は、ビジネス プロセスをサポートすることを目的とし、エンタープライズ全体においてコンテンツの収集、管理、保管、保存および提供するために使用されています。AIIM は非営利機関として 60 年を超える歴史を持ち、ニュースや情報、教育関連のイベント、職業開発、市場分析、業界基準策定、出版、地域ごとの分科会、および組織エグゼクティブ間のネットワーク構築などのサービスを提供しています。AIIM の詳細については、<http://www.aiim.org> をご覧ください。

### **アドビ システムズ社について**

アドビ システムズ社は、時間や場所、利用するメディアや機器を問わず、あらゆるユーザの、アイデアや情報との関わり方に変革をもたらしています。アドビ システムズ 株式会社はその日本法人です。同社に関する詳細な情報は、Web サイト <http://www.adobe.com/jp> に掲載されています。